

【高等学校用】

令和6年度学校評価 計画

| |
|--|
| 達成度（評価） A：十分達成できている B：おおむね達成できている C：やや不十分である D：不十分である |
|--|

| | |
|------------|--------------------|
| 学校名 | 佐賀県立鳥栖工業高等学校 全日制課程 |
|------------|--------------------|

| | |
|----------------------|---|
| 1 前年度 評価結果の概要 | ・新型コロナウイルスの五類感染症への移行に伴い、本校は教育活動を取り戻すことができた1年となった。しかし、コロナ禍以前の状態に完全に戻すのではなく、コロナ禍で得られた知見と経験を基に、さらに教育活動を発展させていくことを目指す。 ・志願者数の減少により、定員に達しない学科が出現した。中学生に対して、本校の魅力、実際の教育活動、そして就職・進学情報をより分かりやすく、丁寧に伝えることで、志願者の確保に努める。 ・教職員の働き方改革を継続し、出退勤管理システムを効果的に活用する一方で、業務管理システムにより、業務の効率化と時間外勤務の削減を図る。また、今年度も部活動の在り方を含め、健康的で活気のある職場環境の整備を進める。 |
|----------------------|---|

| | |
|--------------------------------|--|
| 2 SAGAスクール・ミッション 学校教育目標 | 広い視野と豊かな創造力を持ち、自ら学ぶ意欲と自らを律する力を備え、心身共にたくましく個性豊かで人間愛に満ちた、社会に貢献できる工業技術人の育成をします。 |
|--------------------------------|--|

| | アドミッション・ポリシー | カリキュラム・ポリシー | グラデュエーション・ポリシー |
|--------------------|---|--|--|
| 3 スクール・ポリシー | 1. 将来への目的意識（夢）が明確な生徒を求めます。 2. 基本的な生活習慣（挨拶、礼儀、服装等）が身に付いている生徒を求めます。 3. 工業分野への強い興味・関心を持っている生徒を求めます。 4. 向上心があり、物事に対し常に前向きに取り組める生徒を求めます。 5. 部活動等、中学校3年間で一生懸命に打ち込み、高校でも頑張る意欲がある生徒を求めます。 | 1. 学ぶ楽しさ、わかる・できる・学んだことを活用できた喜びを実感できるように授業や実習の在り方の工夫・改善を図り、基礎学力の向上・定着に取り組みます。 2. 最先端の工業技術を学べるように各工業科の教育課程の改善・充実を図り、各工業科横断的な取組を積極的に取り組みます。 3. ICT機器を活用し、よりわかりやすい授業、学習効果が期待できる授業、自主性が見られる授業を展開し、質の高い教育に取り組みます。 4. 将来を視野に入れた目的・目標を持たせ、主体的に進路を選択・決定し、希望進路の実現、高校卒業後の人生設計につながるようなキャリア教育に取り組みます。 5. 個別最適な学び・協働的な学びの具現化、産官学の連携、高大接続に取り組みます。 | 1. 基本的な生活習慣の確立を図り、健全な人格を育成します。 2. ものづくりを通して、工業技術を習得させるとともに、創造力、問題解決能力、読み解く力を育成します。 3. 資格取得、技能検定、各種コンテストに参加することで、学習への興味・関心を高揚させ、将来にわたって、自己啓発ができる生徒を育成します。 4. 工業技術・スポーツ分野において、生徒の可能性・潜在能力を十分に引き出し、全国大会等で上位入賞ができる生徒を育成します。 5. 基本的な権利を尊重し、自らの言動に責任を持ち、人生を切り拓いていくために必要な人間力を育成します。 |

| | |
|-------------------|---|
| 4 本年度の重点目標 | 1. 基本的な生活習慣の確立 2. 基礎学力の向上 3. 資格取得・コンテストへの参加奨励 4. 部活動・学校行事の活性化 5. 朝読書の定着 6. ICT活用教育の推進 7. 志を高める教育の推進 |
|-------------------|---|

5 重点取組内容・成果指標 中間評価 最終評価

| (1) 共通評価項目 | | | | 中間評価 | | 最終評価 | | 主な担当者 |
|---------------------|---|--|--|----------|----------|----------|------|--------------------------|
| 評価項目 | 重点取組 | 成果指標 (数値目標) | 具体的取組 | 中間評価 | | 最終評価 | | |
| | | | | 進捗度 (評価) | 進捗状況と見通し | 達成度 (評価) | 実施結果 | |
| ● 学力の向上 | ○ 授業の充実、指導方法の工夫・改善に関する取り組み | ○ 生徒の授業に対する理解度 85%以上を目指す | ・ 全職員が参加する相互授業参観を計画し、授業の充実、指導方法の工夫・改善につながる取り組みを各教科で行う ・ 1人1台端末の利用を推進し、生徒の理解がより深まる実践的指導を行う | | | | | 教務主任 教科主任 学年主任 |
| | ○ 自らの将来に対する志を高め、希望進路の実現 | ○ 就職・進学の希望を100%実現する ○ 進路指導に対する満足度 90%以上を目指す | ・ 学習計画表を配布し、定期考査、模擬試験等に向けた家庭学習の定着を図る ・ 年間5回実施するキャリアパスポートを基に、個々に合った進路情報の提供、進路指導の充実を図る | | | | | 進路主任 教科主任 学年主任 |
| ● 心の教育 | ● 生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動 | ○ 人権意識の向上が感じとれた生徒を90%以上にする | ・ 人権・同和教育講演会を行う ・ 情報の授業、LHRにおいて、情報モラル教育、人権教育を行う ・ すべての教育活動で人権に配慮した取組を行う | | | | | 人権・同和教育担当者 学年主任 |
| | ● いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実 | ○ 悩みを相談できる教職員がいるという生徒を85%以上にする | ・ いじめに関するアンケートを年間に2回以上行う ・ いじめ対応についての研修や啓発活動を年間に2回以上行う | | | | | 教育相談主任 生徒指導主任 学年主任 |
| | ◎ ★ ふるさと佐賀への思いを醸成するための教育活動の推進 | ◎ 佐賀県に誇りや愛着を感じる・どちらかというと感じるという生徒80%以上を目指す ★ 郷土の人材を活用した講演会等、全学年対象に年間1回以上行う | ・ 佐賀県内各地域に関する郷土学習資料や「佐賀語り」等を活用した教育活動に取り組む ・ 全学年対象に年間1回以上、郷土の歴史や文化を学ぶ講演会を行う | | | | | 図書主任 3年担当 |
| ● 健康・体づくり | ② 「望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成」 | ② 「健康に良い食事をしている」生徒を80%以上にする ○ 毎日、朝食をとる生徒80%以上を目指す | ・ 生活状況調査、食に関する意識調査を行う ・ 全学年に食育に関する講演会を行う ・ 保健だよりを定期的に発行し、食に関する意識を高める | | | | | 保健主事 食育担当者 |
| | ④ 「安全に関する資質・能力の育成」 | ● 生徒の交通事故件数0(ゼロ)を目指す | ・ 交通安全に関する講演会・講話を行う ・ 自転車安全点検を年間に2回以上行う ・ 職員による街頭指導を定期的に行う | | | | | 生徒指導主任 |
| ● 業務改善・教職員の働き方改革の推進 | ● 業務効率化の推進と時間外在校等時間の削減 | ● 教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。 | ・ 月曜日を定時退勤日とする ・ 学校開庁日を設定する ・ 部活動休養日を設定する ・ 会議の精選や会議時間の短縮を図る | | | | | 管理職 |
| ● 特別支援教育の充実 | ○ 特別支援教育に関する教員の専門性と意識の向上 | ○ 特別支援教育に関する専門性が向上したと回答した教員80%以上 ○ 支援が必要な生徒に十分対応できたと回答した教員80%以上 | ・ 特別支援教育に関する研修会の実施 ・ ケース会議の開催、関係者間での情報共有 | | | | | 教育相談 学年主任 管理職 |

| (2) 本年度重点的に取り組む独自評価項目 | | | | 中間評価 | | 最終評価 | | 主な担当者 |
|-----------------------|--|---|---|----------|----------|----------|------|-------|
| 評価項目 | 重点取組内容 | 成果指標 (数値目標) | 具体的取組 | 中間評価 | | 最終評価 | | |
| | | | | 進捗度 (評価) | 進捗状況と見通し | 達成度 (評価) | 実施結果 | |
| ★ 唯一無二の誇り高き学校づくり | ★ 工業技術・スポーツ分野における全国大会等での上位入賞 ★ 県外からの入学志願者数の増加 | ★ 自分の学校を中学生に勧めることができる生徒の割合80%以上、教職員の割合90%以上を目指す ★ 全国大会等での上位入賞者数、5名以上を目指す ★ 県外からの入学志願者数、募集定員の10%以上を目指す | ・ 工業技術・スポーツ分野において、生徒の可能性・潜在能力を十分に引き出す指導を適正かつ科学的に行う ・ 学校のホームページや学校紹介リーフレット等を活用し、情報発信を効果的に実施する | | | | | |
| ○ 工業技術の習得 | ○ 資格取得の奨励 | ○ 各生徒が1つ以上の資格を取得する | ・ 各工業科において、資格取得を奨励し、その資格の必要性と将来性を紹介するとともに補習体制を強化する | | | | | |

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育 ★…唯一無二の誇り高き学校づくり

| | |
|-----------------------|-------------|
| 6 総合評価・次年度への展望 | ・ ・ ・ |
|-----------------------|-------------|